

令和6年度研究テーマ  
「実感できる豊かさ」を高めるまちづくりとは

ポストコロナ時代における  
ウェルビーイング政策の方向性

講師

吉弘 拓生 さん

総務省地域力創造アドバイザー  
内閣官房地域活性化伝道師



■F-labo (エフラボ：福岡 laboratory)

プロの講師による指導のもと、1年間じっくりテーマについて考え、「政策立案能力」をはじめ、的確なアイデアを出すために必要な「分析力」、「課題解決力」を伸ばします。県内自治体職員との交流もできます。



- 対象者 政策づくりを通してスキルアップしたい方  
(入庁5年目以上～係長級の職員)
- 定員 12名 (申し込み多数の場合は抽選)
- 期間 令和6年5月～令和7年2月  
【全7回】
- 申込 令和6年4月15日(月)17時まで

- ◆申込み  
研修担当課を通じてお申し込みください。
- ◆問い合わせ  
福岡県市町村職員研修所 研修課  
☎(092)504-0551 /FAX (092)504-0181  
E-mail :shioji-kari@ctv-kenshu-fukuoka.jp

## 【令和6年度の研究に向けて(講師からのメッセージ)】

新型コロナウイルス感染症の拡大は、これまで私たちが長く営んできた当たり前の日常や生活様式を一変させ、働き方や日常の生活スタイル、個人個人の価値観などに大きな変化をもたらしました。

こうしたなか、市町村の政策立案においても、広く全体に波及する一律的な政策の推進から、「個」に対する政策立案の実施へと変化していくフェーズに入ってきているとも考えられます。

「コロナ禍」を機に定着した社会や経済の「新たな常識」を基に、社会環境の変化に的確に対応していくための自治体政策などについて研究することで、住民の幸福感を高めるまちづくり、すなわち、1人1人が実感できる豊かさを感じる「ウェルビーイング政策」の方向性について考えていきましょう。



市町村職員を取り巻く環境の変化を念頭におきながら、問題発見や課題解決などのスキルを学び、自主的・主体的に研究を進めていきます。

自治体職員のネットワーク強化と思考のリフレッシュをしてみませんか？  
楽しい1年間を過ごせるので、ぜひ参加してみてください

年間の研究を通して、新たな学びや人との繋がりが生まれます。  
新たな一歩を踏み出した方は、ぜひ参加してみてください。

一年後、今より成長した自分になりたい人にお勧めします。研究を一年かけて成し遂げていく過程や成果、仲間との繋がりは、必ず力になると思います。

今の公務員に足りない部分・必要なことが学べる貴重な機会だと思います。今後の公務員人生変えてみませんか？必ず、役に立ちます！

## 令和5年度 F-labo 研究生(第2期生)からの メッセージ

役所の中だけでは得ることのできない経験・知識を得ることができ、市町村の枠を越えた横の繋がりが作ることができます。  
悩んでるならぜひ参加してみてください！！

大変な研修ですが、一年間終わった後に、研修に参加したことを後悔することはありません。

同じ目標を持ったメンバーで、良い提言、楽しい思い出を作りましょう！

深い議論や意思決定の難しさを経験してください。更なるステップアップを求めている方には良い経験となります。

時間が経つにつれ、参加してよかったと思えるような内容だったので、積極的に参加してほしい。

とても身になる研修でした。ただ、とても時間を割くことになるので、業務調整して望んでほしいです。横のつながりと研修内容は一生の宝になると思います。

どんな業務にも応用できる知識・経験を詰むことができます！

